

授業科目 看護過程演習

【担当教員名】 川崎 久子 他	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	○

【概要・一般目標：GI0】

看護を実践するための問題解決や意思決定に必要な看護過程について理解し、その活用方法を修得する。看護過程の各段階（アセスメント、看護診断、計画立案、実施、評価）について学び、事例を用いて看護過程を展開し、看護実践における活用方法を修得する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 看護における看護過程の意義について説明できる。
2. 看護過程の各段階（アセスメント、看護診断、計画立案、実施、評価）について説明できる。
3. ロイ適応モデルの支持理論およびモデルの概要について説明できる。
4. ロイ適応モデルに基づく看護過程の構造と機能について説明できる。
5. 看護過程の記録用紙の活用方法について説明できる。
6. 事例を用いて看護過程の展開ができる。
7. 事例における看護過程の展開を発表し、ディスカッションを通して看護過程の理解を深めることができる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	看護における看護過程の意義	1	講義（長谷川隆雄）
2	看護過程の各段階（アセスメント、看護診断、計画立案、実施、評価）	2	講義（長谷川隆雄）
3	ロイ適応モデルの支持理論およびモデルの概要	3	講義（長谷川隆雄）
4	ロイ適応モデルに基づく看護過程の構造と機能	4	講義（長谷川隆雄）
5	看護過程の記録用紙の活用方法	5	講義（長谷川隆雄）
6	個人課題のまとめとグループ課題の提示	6	講義（長谷川隆雄）
7	事例を用いて看護過程を展開（データベース、適応様式別アセスメント）	6	演習（基礎看護学全教員） ・個人およびグループで事例について看護過程を展開する
8	事例を用いて看護過程を展開（データベース、適応様式別アセスメント）	6	演習（基礎看護学全教員）
9	事例を用いて看護過程を展開（全体関連図、看護診断と優先順位）	6	演習（基礎看護学全教員）
10	事例を用いて看護過程を展開（全体関連図、看護診断と優先順位）	6	演習（基礎看護学全教員）
11	事例を用いて看護過程を展開（看護診断プロセス、看護計画）	6	演習（基礎看護学全教員）
12	事例を用いて看護過程を展開（看護診断プロセス、看護計画）	6	演習（基礎看護学全教員）
13	グループ課題発表の準備	7	演習（基礎看護学全教員）
14	グループ課題発表	7	演習（基礎看護学全教員） ・グループごとに展開した看護過程を発表する
15	まとめ	7	講義（長谷川隆雄）

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	基礎看護学〔2〕 基礎看護技術Ⅰ	藤崎郁	医学書院	2006・2,600円＋税
	ロイ看護モデルを使った看護の実践 第2版	松木光子編	ヌーヴェルヒロカワ	2005・2,200円＋税
参考書	ロイ適応モデルによる看護実践ガイドー 診断・介入・評価ー	江本愛子他編	メヂカルフレンド社	1998・2,400円＋税
	ロイ適応看護理論の理解と実践	小田正枝編	医学書院	2009・2,600円＋税
その他の資料	配布資料			

【評価方法】

出席状況：20%
看護過程の展開内容：70%
ふり返りの自己評価：10%

【履修上の留意点】

・この科目は、基礎看護学実習Ⅱを履修するにあたっての前提科目となる。